

(5) 伊予ブロック（伊予市、松前町、砥部町）

～産地づくり～

県都松山市に隣接し、市場だけでなく産直市や、観光農業、通信販売等、多様な販売チャンネルの活用が見込めるため、消費者ニーズを捉えた多様な野菜・花き類や地域ブランド製品の生産振興による産地づくりを目指します。水田農業では、新品種の導入や品質向上を図る一方で、コスト削減や省力化に努め、集落ぐるみで産地育成を推進します。また、果樹では、環境に配慮した栽培管理や鳥獣被害防止にも取り組みながら、地域経済を支える基幹産業として足腰の強い競争力のある産地の確立を目指します。

～推進品目や産地づくりの方向～

○収益性の高い水田経営の推進

1 水稻・はだか麦の優良種子の安定生産

【取組】

- ・無病で発芽率の良い種子の生産を推進するため、伊予地区種子生産協議会において、技術講習会や現地指導、採種ほ場の審査を実施

【成果】

- ・令和4年度の県内種子を確保
水稻 : 6品種 188.5t
はだか麦 : 1品種 72.5t

2 水稻新品種「ひめの凜」の普及拡大

【取組】

- ①「ひめの凜」ブランド化に向け、現地実証や適正な中干し、穂肥等栽培講習会による品質向上対策を推進
- ②認定栽培者制度により、食味向上の取組を徹底

【成果】

- ①ひめの凜栽培面積：34ha（前年9.6ha）
- ②プレミアムクオリティ：72t（前年20t）
- ③県食味コンテスト最優秀賞受賞（管内初）

3 はだか麦「ハルヒメボシ」の高品質安定生産

【取組】

- ①品種の特性に対応した栽培技術の推進、後期重点施肥技術の導入による省力化の検討
- ②はだか麦の加工品開発による消費拡大の推進

【成果】

- ①「ハルヒメボシ」の栽培面積：355ha（前年比+1ha）
- ②「ハルヒメボシ」の平均収量：412kg/10a
（目標360kg/10a）
- ③はだか麦の加工品「裸麦おはぎ」の開発

4 小麦「シロガネコムギ」の導入

【取組】

- ・はだか麦需給バランスの改善に伴う小麦栽培への転換推進

【成果】

- ・管内の小麦「シロガネコムギ」：38ha



種子栽培講習



ひめの凜現地講習



小麦生育調査

○果樹の高品質安定生産によるブランド力の向上

1 「愛媛果試第28号」の品質向上

【取組】

- ①少量多頻度かん水等による品質の向上
- ②生育状況に合わせた施設内温度管理を指導
- ③整枝管理と着果管理を指導による品質の向上

【成果】

- ①紅まどんな基準を達成した品質を確保
- ②施設内温度管理の徹底による果形品質の向上
- ③整枝管理と着果管理による品質の向上
- ①～③紅まどんなの割合：76%（前年77%）
（糖度10.5以上、酸度1.2%未満、果形良好）



愛媛果試第28号
の腰高果対策

○果樹の高品質安定生産によるブランド力の向上

2 「甘平」の裂果軽減による安定生産の確保

【取組】

- ①裂果軽減対策の検証
- ②土壌改良機材の導入

【成果】

- ①検証の結果、深層部根量の多少が裂果に影響していることを確認、深層部の根づくりが重要であることを解明
- ②土壌改良の必要性から土壌改良機器を活用した土づくりと、土質や乾湿の状態に合わせた水分管理の必要性を理解

3 かんきつ新品種 愛媛果試第48号「紅プリンセス」の導入

【取組】

- ①新規栽培者の確保と面積の拡大を推進
- ②早期成園化に向けた整枝管理の徹底

【成果】

- ①新規栽培面積約6haを確保
- ②樹容積の拡大が順調な園地では、順次施設化の取組



甘平のかん水管理園



紅プリンセス
生育状況

○地域特産野菜・花き振興による農家所得の安定

1 環境にやさしい施設野菜

【取組】

- ①生産者の所得向上、省力化、環境負荷軽減を図るため、土着天敵のタバコカスミカメの導入
- ②土着天敵定着のために、温存植物の導入促進

【成果】

- ①②により、土着天敵のタバコカスミカメの導入
きゅうり：2戸40a、ナス：3戸35a

2 さといもの振興

【取組】

- ①高収益水田野菜として、収穫期間の長い、さといもの普及拡大
- ②さといもの収量向上のための、講習会、調査等を実施

【成果】

- ①集落営農法人、大規模生産農家を中心に栽培面積5ha（2.5ha増加）
- ②さといも疫病のまん延防止のため防除指導を実施
- ②5ほ場の生育調査による栽培データの蓄積

3 地域特産野菜の振興

【取組】

- ①夏秋トマトの安定生産を図るため、モデル農家9戸を定期的に巡回し、生育状況に対応した栽培管理の徹底
- ②自然薯ウイルスフリーハウスの栽培管理の省力化推進

【成果】

- ①夏秋トマトは8月の低温・長雨の中、昨年並の収量を確保
生産量：188t（前年196t）
- ②自然薯ウイルスフリーハウス（種芋生産専用）へ、落差利用によるチューブ灌水、ハダ二天敵を導入し、栽培管理の省力化を実施

4 鉢物生産技術の向上

【取組】

- ①さくらひめ鉢物の生産性向上のため、個別巡回指導を徹底
- ②伊予花き研究の定例会を開催し、情報交換や販売促進を検討

【成果】

- ①さくらひめ鉢物生産者：9戸、9.8a
- ①8月の低温・長雨や高温下でも例年並みの生産量を確保
生産量：約18,000鉢（前年約17,000鉢）
- ②コロナ禍の厳しい状況の中での流通販売の検討や情報交換（定例会10回開催）



土着天敵タバコカスミカメ



さといもの生育調査



トマトの栽培指導

○地域を代表するブランド製品の産地維持・振興

1 「中山栗」の産地力向上

【取組】

- ①生産力強化を図るため、低樹高化と防除の徹底を推進
- ②せんだ班活動により低樹高化を推進
- ③高収益、低樹高栽培のためのモデル園を設置
- ④中山栗のブランド力を強化するため新たな加工品の開発

【成果】

- ①低樹高栽培の意識の向上のための講習会を開催
- ②せんだ班請負面積：44ha
- ③モデル園の収量：194kg/10aを確保
- ④新たなレトルト加工品（1品）の開発、販売

2 「七折小梅」の安定生産

【取組】

- ①連年結果する優良系統樹を選抜
- ②省力化技術として電動農機具を紹介

【成果】

- ①連年結果性のある優良系統樹5樹を選抜するとともに、品質等についての比較実証を開始
- ②電動鋏、電動チェーンソー等を利用する農家が増え、2戸の農家が共同でスマート農業機械(リモコン草刈機1台)の導入

3 鳥獣被害防止対策の実践

【取組】

- ①鳥獣被害が多い伊予市唐川地区で、獣道の確認や電気柵の設置状況の確認を通して、鳥獣害対策の徹底を推進
- ②獣類による農地の掘り起こしや作物被害の大きい場所に監視カメラを2台設置して、イノシシをはじめウサギやハクビシン、狸などの野生獣類の出没を確認
- ③箱罠にかかったイノシシの止さしを見学し、地域の実情と猟友会の活動を周知
- ④管内女性農業者を対象に、鳥獣害対策の必要性を啓発
- ⑤伊予市、砥部町で獣肉の活用（加工販売）の検討

【成果】

- ①唐川地区で猟友会員と農業者が集落点検実施：1回
- ②野生獣類の出没を確認した地域等への対策パンフレット配布により、関係者で対策に向けた意識共有が完了
- ③鳥獣被害の地域の実情や猟友会の活動に対する理解度向上
- ④夫婦で行う鳥獣害対策の視察研修実施：1回（松山市）
- ⑤加工販売に向けた検討会の開催：伊予市2回、砥部町1回



栗低樹高講習会



優良系統樹の選抜



集落の見回り活動

～地域づくり～

農業・農村を支える多様な担い手を確保・育成するため、関係機関が連携・協力し、研修制度や受入体制の充実・強化を図り、新規就農者や参入企業の掘り起こしと定着支援に取り組みます。また、集落営農組織の育成や法人化を進め、優良園地など地域農業基盤の維持・管理と地域コミュニティの活性化を図ります。

活力と愛顔あふれる農村社会を実現するため、女性の感性や能力を活かした起業活動や農業経営への参画を推進し、次代の地域農業を担う女性農業者を育成します。

～推進対象や地域づくりの方向～

○次代を担う新規就農者の確保・育成と多様な人材の参画支援

1 新規就農者の確保

【取組】

- ①サラリーマン等を対象とした休日就農相談会を開催
- ②個別就農相談等を実施

【成果】

- ① サラリーマン等就農相談会：2回 相談者：計10人
- ①②実務研修実施者：4人
- ①②新規就農者：6人 うち認定新規就農者：4人



サラリーマン等就農相談会

～推進対象や地域づくりの方向～

○次代を担う新規就農者の確保・育成と多様な人材の参画支援

2 新規就農者の定着率向上

【取組】

- ①次世代人材投資事業（開始型）受給者に対する支援
- ②新規就農者勉強会の開催
- ③補助事業及び資金借入による早期経営安定支援
- ④青年農業者組織活動支援

【成果】

- ①現地確認、就農状況確認及び経営相談：27人
- ②新規就農者勉強会：1回 参加者：9人
- ③県補助事業及び青年等就農資金借入：8人
- ④青年農業者プロジェクト活動：6課題
研修会等開催回数：2回（農業機械講習、プロジェクト活動報告会）

3 多様な人材の参画支援

【取組】

- ・農福連携の取組を啓発するとともにマッチングを支援

【成果】

- ・農作業受託件数：2件（品目：さといも、えだまめ、オクラ）



就農状況確認、技術指導



さといも収穫作業受委託

○優良農地を保全する集落営農組織・農業生産法人の育成

1 集落営農組織や農業生産法人の育成

【取組】

- ①要望に応じ、中小企業診断士等による経営相談を開催
- ②規模や経営状況に応じて、導入すべき農作物を指導
- ③高収益化に向けて、新たな品目の導入を提案

【成果】

- ①②法人化や任意組織へのスムーズな移行を推進し、組織経営の安定化を実現（相談実績：10回）
- ③ 高収益作物として、さといもを導入

2 集落営農の組織間連携による優良農地の保全

【取組】

- ①田植え直後の稚苗を食害するスクミリンゴガイの対応策を検討
- ②さといもの収量増加を目指し、生育及び収量調査結果を情報共有

【成果】

- ①農研機構講師による、スクミリンゴガイ対策研修会を開催（研修の参加人数：40人）
- ①スクミリンゴガイ対策実証試験を実施（8組織17ほ場）
- ②調査区：平均3～4t/10aの収量（前年比115%）

3 高収益作物の導入による経営安定

【取組】

- ①さといも「愛媛農試V2号」の導入を推進し、栽培講習会を開催
- ②さといもの出荷先を検討

【成果】

- ①集落営農組織におけるさといもの栽培面積2haに拡大（前年1ha）
- ①病虫害対策、水や雑草管理技術を習得
- ②JA松山市において、新規で受入を開始



経営相談



スクミリンゴガイに食害された水田



さといも収量調査

○女性農業者の仲間づくりと女性が輝く社会の実現

1 地域に根差した食文化の保存・伝承

【取組】

- ①生活研究協議会員による学童に地域に根差した食文化伝承活動支援
- ②手づくり加工品や伝統食や保存食の紹介や継承活動を実施（YouTubeを活用した作り方の動画配信）

【成果】

- ①学童対象に食文化保存伝承講座開催：3地区 各1回
- ②動画配信：灰汁を使ったこんにゃく作り



小学生に裸麦みその作り方を紹介

○女性農業者の仲間づくりと女性が輝く社会の実現

2 女性認定農業者組織「あいネットワーク」の活動支援

【取組】

- ①女性の働きやすい環境づくりに関するほ場巡回を実施
- ②経営面積の拡大や鳥獣害対策の視察研修を実施
- ③女性の経営参画を支援するため、女性対象の経営分析を実施

【成果】

- ①延べ2件のほ場を巡回し、環境づくりに関する意識を醸成
- ②研修会（2回）を通して、経営や鳥獣被害に対する知識を習得
- ③経営分析（3地区・各3回）により、受講女性の経営知識が向上

3 伊予地区一次産業女子グループ「葉れるや」の活動支援

【取組】

- ①グループのロゴデザインの作成と仲間づくり支援
- ②農産物販売強化支援及び研修会を開催

【成果】

- ①一次産業女子グループのメンバーが10人に増加（前年9人）
- ②産直市でのマルシェの開催1回（2カ月間）
- ②栽培・加工技術向上を目的とした研修会の開催：3回



鳥獣害対策について学ぶ会員



産直市にグループのブースを出店



簡易宿泊所開設



シイタケ栽培体験のモデル研修会



再活動した起業活動

○地域資源を活用した消費者との交流活動の推進

1 グリーン・ツーリズムの推進

【取組】

- ①地域の食文化や生活技術等の伝承を目的とした新しい体験メニューの魅力発信・開発支援
- ②女性起業家の民泊の開設支援
- ③伊予市GT新規誘客促進のため利用料金を補助

【成果】

- ①県事業を活用し、体験施設を掲載したチラシを登録：1件
- ①新規体験交流活動（ピザ、みそ作りほか）：17回 207人
- ②交流体験モデル研修会：1回
- ②経済産業省補助事業活用で施設改修：1件（砥部町民泊）
- ②コロナ対策市町助成金活用営業許可更新：1件（砥部町餅製造販売）
- ③伊予市補助事業（300円体験料助成）：7件活用

2 女性起業家育成と消費者交流の推進

【取組】

- ①女性起業家の再活動と新商品開発を支援
- ②コロナ禍の販路確保支援

【成果】

- ①じゃこ天販売を行う店舗1件を新たに開設
- ①裸麦の新商品研究（ひな豆風ボン菓子）：1件
- ②消費者交流イベント参加促進：1回（砥部町楽市）

～農業用水の安定供給と樹園地再編による優良品種産地拡大～

○水田地帯の農業用水の安定確保

【取組】

- ①基幹的水利施設の計画的な更新
- ②老朽化した農業用ため池の改修や、農業用ため池の地震対策を実施

【成果】

- ①基幹水利施設の更新地区数：1地区（砥部町 砥部地区）
- ②農業用ため池の改修、地震対策実施地区数：5地区（伊予市 吾川地区、土段地区、宮下新池地区、本谷池（宮下）地区、吾水池地区）

○樹園地の再編整備

【取組】

- ・農地中間管理機構関連農地整備事業を活用した樹園地の再編整備

【成果】

- ・農地中間管理機構関連農地整備事業を活用した樹園地の再編整備地区数：1地区（砥部町 砥部地区）



初ヶ谷池の改修状況（吾川地区）



樹園地再編整備の検討状況（砥部地区）

～安全・安心な畜産物生産体制の強化に向けて～

1 高病原性鳥インフルエンザなど家畜伝染病の農場への侵入防止

【取組】

- ①新たな飼養衛生管理基準の遵守徹底を指導
- ②農場HACCP認証の維持及び新規取得のため、HACCPチーム員として指導助言を実施

【成果】

- ①家畜の飼養者について、飼養衛生管理者講習会を実施するなど、飼養衛生管理基準に対する意識を醸成
- ②HACCP認証の維持（1農場）及び新規取得（1農場）

2 地域環境に配慮した経営体の育成

【取組】

- ・堆肥の利用状況等に関する聞き取り調査を行い、必要に応じて衛生対策や環境面に対する指導や支援を実施

【成果】

- ・環境・衛生の生産者意識の向上
調査指導：6戸10農場



HACCP検討会議



堆肥利用調査